

- これまでのホストタウンでは「事前合宿」を前提とする自治体が多かった。  
⇒「事前合宿」の招致はハードルが高かった。
- 全国にホストタウンの取組を広げていくため、東京大会の競技終了後、選手がホストタウンを訪問し、地元の方と様々な交流を行う「事後交流」型ホストタウンを後押し！

## 「事後交流」型ホストタウンのイメージ

### 大会前

➤ 住民や子どもたちなどが相手国・地域と文化、経済、食などを通じた交流を活発に実施

(例)

- ・在日大使館関係者との交流、相手国/地域文化の学び
- ・学校間交流 等

➤ 縁のあるオリンピックO B等を招いての交流

### オリンピック・パラリンピック大会期間中

大会前半

大会中盤

大会後半

A国選手団

競技の直前に選手村入り

柔道

大会中の相手国選手応援

●●選手

競技終了後、X町を訪問し、交流会等に参加

B国選手団

Y県で事前合宿実施

空手

大会中の相手国選手応援

△△選手

競技終了後、Z市を訪問し、住民交流会に参加

陸上

大会中の相手国選手応援

C国選手団

特定の種目のみ参加

C国選手団

種目終了後、全員でA村を訪問し、中学生の陸上部と交流